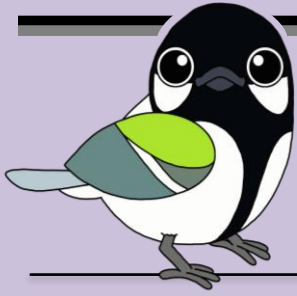


しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう 145

ニイニイゼミ

分類 カメムシ目 セミ科

(はねを入れた) 大きさ：32～40mm

特徴：抜け殻には泥が付いている
「チー、ニー」と鳴く小鳥の森で見られる時期
・6月下旬～8月下旬小鳥の森で見られる場所
・ネイチャーセンターの周辺や各小径ましこ ななは さん (9才) ※左
さとう ゆずか さん (8才) ※右 が描いてくれました。

6 月 いきもの森予報

ネコの尾の花、早起きなセミ

夏に向かう6月。小鳥の森では、とある動物のしっぽに似ている花が見頃になります。それは「オカトラノオ」。長い軸(じく)にたくさんの白い花を咲かせ、先に行くほど細くなって垂れ下がります。その様子が「虎(トラ)」の尾(お)に見えて名前が付けました。強そうな名前ですが、ふわりと風にゆれるとネコに甘えられているみたいですよ。

6月のおわりには「ニイニイゼミ」が鳴き始めます。小鳥の森で観察できるセミの中でいちばんの早起き。土の中から出てくると木の低いところで羽化(幼虫(こども)から成虫(おとな)への変化)します。「ぬけがら」の表面には泥が付いているのが特徴です。

雨の日が多くなる時期ですが、一足先に夏を連れてくる生き物を探してみてくださいね。

オカトラノオ



ニイニイゼミぬけがら



ニイニイゼミ



旅の羽やすめ

草木の緑が一気に濃くなった5月の小鳥の森。園内では漂鳥（（ひょうちょう）季節によって日本国内を移動する鳥）の姿を見ることができました。

まずはクロジ。ホオジロの仲間です。スズメより少し大きく16cmほど。オスの体は青みがかった暗い灰色です。背中や翼（つばさ）には茶色のすじ模様。地味？いえ、深い色合いががっこいい鳥です。小さく「チツ、チツ」と鳴いていました。

続いて「ビンズイ」。16cmほどの大きさで背中は緑がかったうすい茶色。胸にははっきりした縦斑（たてはん）があります。セキレイの仲間なのでピョンピョンと飛びはねて移動するのではなく、足を前後に動かして歩きます。

これから子育てをする場所へ向かう途中の羽やすめ。地面の落ち葉をガサガサとかき分けて虫などのエサを探し、旅を続けるための栄養補給（えいようほきゅう）をしていました。



クロジ



ビンズイ

自然のお便利

オタマジャクシから変身（へんしん）！

春に卵から生まれたオタマジャクシ。水の中でしっぽをゆらし泳ぎます。夏のはじめには、りっぱな大人のカエルに。丸い体にしっぽだけのオタマジャクシが、どうやって手や足を生やすのでしょうか。

陸（りく）の上で生きていける準備ができると、最初にしっぽの付け根から後ろ足が出てきます。後ろ足は少しずつ長い足に成長していきます。その次に前足。なんと前足は皮ふの下で成長してから「ポンッ」と突然出てきます。その頃には水中で「エラ」がなくなり、陸上で息をするための「肺（はい）」ができあがります。顔の先がとがり、しっぽも短くなってカエルらしい形に。地面をジャンプして移動できるようになります。2ヶ月ほどのおどろきの大変身！今日あなたが見たオタマジャクシはどんな形だったのでしょうか？

イベント報告

バードウィーク特別企画

5/12（日）に愛鳥週間に合わせた「小鳥の森バードフェスティバル」を行い、野鳥に関するたくさんの企画を参加者のみなさんに楽しんでいただきました。杉板を使った巣箱作りでは、野鳥が子育てすることを心待ちに、丁寧に制作されていました。また、バードウォッチングでは「日本野鳥の会ふくしま」の方々から鳥の鳴き声や探鳥方法などを学び、実際に森を歩いて野鳥観察を楽しみました。



巣箱づくりの様子



バードウォッチング

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年6号№456 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP